

Go-Tech事業・活用企業の例

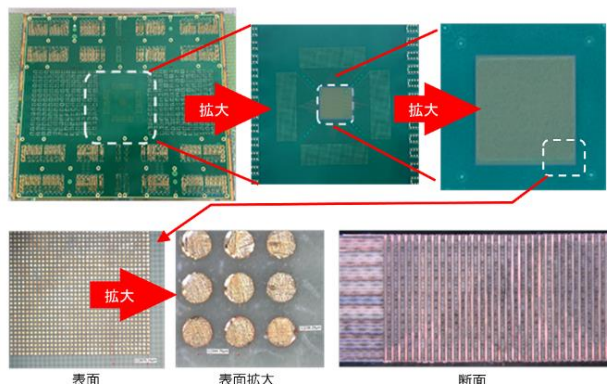
株式会社ピーダブルビー

～ガラス樹脂基板材料による多ピン・狭ピッチ半導体デバイス検査対応の高アスペクトスルホール形成技術の研究開発～

【主たる研究実施場所：滋賀県】

接合・実装

- 半導体デバイスは高機能化や高性能化ニーズに対応するため多ピン化や狭ピッチ化が加速している。しかし、半導体製造プロセスのテスト工程に不可欠なテスト基板の小口径、狭ピッチ、高アスペクトを有したスルホール形成技術がボトルネックとなっている。
- ドリル・レーザハイブリッド加工技術等を用いた細孔加工技術と特殊めっき液流動制御技術を用いた細孔めっき技術を開発し、次世代テスト基板製造技術を確立。これにより、従来比集約度(面積の短小化)75%以下、製造期間1/2以下、コスト1/2以下になることが確認できた。
- 事業終了の翌々年度（2023年度）に大手半導体メーカーへ販売開始。既存のセラミック基板に変わる新たな製品として川下企業へ提供し売上を増加させている。また、半導体デバイスの高度化に対して価格を据え置くことができ、実質的なコストダウンを実現。付加価値額増加率は約20%。



3000ピンデバイス検査用基板

<研究開発体制>

事業管理機関 公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

主たる研究等実施機関 株式会社ピーダブルビー

研究等実施機関
公立大学法人大阪（大阪府立大学）

研究等実施機関 学校法人龍谷大学

研究等実施機関 滋賀県工業技術総合センター

研究等実施機関 滋賀県東北部工業技術センター

アドバイザー企業等